

「ものづくりのまち南丹市」を全国に発信



こころを整える～文化発心

第26回国民文化祭・京都2011

平成23年10月29日～11月6日

南丹市立文化博物館、国際交流会館、町家 ほかで開催

国民文化祭は、日本全国でいろいろな文化活動に親しんでおられる方が日ごろの取り組みの成果を発表しあう国内最大の文化の祭典です。毎年各都道府県の持ち回りで開催され、本年度は、10月29日から11月6日にかけて、京都府内一円で開催されます。

南丹市では、市民の皆さんや行政、関係機関の代表者などによる実行委員会を組織して、南丹市らしい祭典の開催を目指し準備を進めています。

南丹市の主催事業

国民文化祭で南丹市は『美術展「工芸」』と『工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」』の2つのテーマで主催事業を行います。

『美術展「工芸」』では、さまざまなものづくりに親しむ方々の工芸作品を全国から募集し、審査によって文部科学大臣賞をはじめ各賞を贈り、優秀作品を文化博物館に展示します。

『工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」』は、丹波路の魅力を集め、手仕事の工房や豊富な自然の恵みなどをテーマごとに紹介するマップを作成します。

南丹市ならではの事業を展開

南丹市は、「新光悦村」への工場などの誘致や、「京都伝統工芸大学校」の立地、そして何よりさまざまな分野にわたる職人や作家の方々が、南丹市をフィールドとして数多く活躍されているなど、

ものを生み出すまちとして魅力あふれる特長があります。国民文化祭では「ものづくりのまち・南丹市」の魅力と特長を織り交ぜたいイベントを取り入れ、全国に発信したいと考えています。

そこで、市内で活躍の職人や作家の方々による作品の展示会を、城下町の風情を残す園部町本町周辺の町家で開催したり、地域の伝統食や特産品の加工食品など、食のものづくり〴〵にまつわる展示や販売、手づくりのあかりを集めて地域をライトアップする灯りイベントなどを企画しています。

さらに、京都工芸美術作家協会が、創立65周年記念展覧会を巡回展として同日開催され、世界を舞台に活躍される作家の作品の数々をご覧いただける会場を設けます。

今後も、国民文化祭に関する情報は、広報なんたんはじめさまざま機会に紹介していきます。

国民文化祭関連イベントのお知らせ

150日前イベント『仁清まつり』

京焼きの祖・野々村仁清の生誕の地で…

日時：5月22日（日）

午前9時30分～午後4時30分

会場：大野ふれあい館と周辺（美山町大野）

100日前イベント

『夏休み ものづくり体験』（仮称）

～体験しよう！いろいろなものづくり～

日時：7月23日（土）

午前10時～午後3時（予定）

会場：南丹市国際交流会館

今年の国民文化祭は、東日本大震災の甚大な被害により、国民生活がこれまでに経験したことのない危機に直面する中で開催されることとなりました。

この取り組みを通じ、鎮魂の祈りを捧げるとともに、日本人に息づく文化の心によって、立ち上がる勇氣と元気を奮い起こし、共に心一つにして乗り越えていくことを決意することを呼び掛けていくものとなります。

皆さんのご理解とご協力をよろしく願います。